

聞き取りメモ

①何があったか

(例)腕を引っ張られる、車に乗せられそうになる、身体に触れられる、抱き着かれる、「お菓子や物を買ってあげる」「遊びに行こう」と言われる、追いかける、立ちふさがれる

②いつ

年 月 日 () 時 分頃

③どこで

場所:

④不審者の特徴

男・女()人 年齢()歳くらい

身長()cmくらい 体格(肥満 ・ ふつう ・ やせ)

服装()

逃走手段 (徒歩 ・ 自転車 ・ バイク ・ 車)

その他特徴()

⑤子どもの情報

氏名: 電話番号:

学校: 小・中学校 年 組

住所:

こども110番の家

対応マニュアル

～地域で守るこどもの安全～



近くの小学校 _____ 小学校

☎ _____

近くの中学校 _____ 中学校

☎ _____

警察は 110番 救急は 119番

こども110番の家とは

子どもたちを犯罪から守るためには、地域住民、学校、青少年育成団体等が相互に連携し、地域社会全体で子どもたちが安全に暮らすことができる環境をつくる必要があります。地域で子どもたちの安全を守る活動として、「こども110番の家」に地域の方々のご協力をいただいております。

主な役割

- 犯罪等の被害に遭い、または遭いそうになって救助を求めてきた子どもの保護
- 事件、事故の発生を認知した時の学校連絡、保護者への連絡、110番通報

「こども110番の家」ステッカーの貼り方

避難してくる子どもたちが駆け込みやすいように、「こども110番の家」のステッカーを通学路などの道路から見やすい場所に掲示してください。

対応のしかた

子どもが助けを求めてきたら、**まず家の中に入れて保護してください。**

①



まずは自分が落ち着く。
話を聞く側が慌てたり興奮したりせず、落ち着いて対応しましょう。

②



子どもを落ち着かせる。
「もう大丈夫」など優しく声を掛け、子どもを落ち着かせてあげましょう。

③

子どもから話を聞く



裏面の聞き取りメモを利用して、話を聞いてください。

- 落ち着いた雰囲気をつくる
- けがや体調に気を配る
- わかりやすくゆっくり話す
- 話したくないようであれば無理に聞き出そうとしない

④

学校に連絡または110番通報をする。



- 学校に電話し、状況を説明し指示を受ける
- 「こども110番の家」であることを告げる
- 緊急性及び事件性の高い場合は110番通報をする
- 子どもが、保護者の電話番号がわかる場合は保護者に連絡をする。